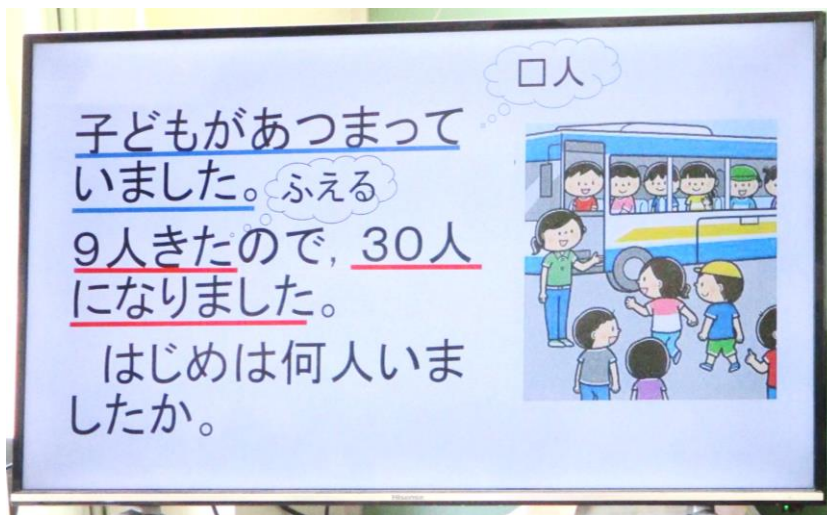


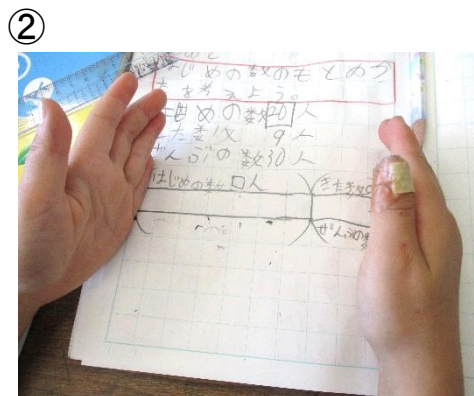
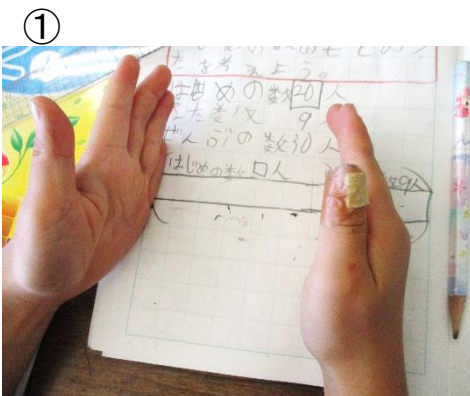
先日のサテライト研修講座では、「困難さに対する指導の工夫」について研修を行い、つまずきの要因に応じた指導・支援方法を知ることができました。

日々の授業で様々な手立てを行うことにより、つまずきのある児童の学習理解が進むようにしていきましょう。

1 「図に表して考えよう」(2年)



「はじめ何人かいて、9人きたので、30人になった」ことを両手を広げさせ、量感をもたせてから図に表す。



はじめの数の大きさを両手を使って、表してみましょう。



9人くると、両手の間の大きさは、どうなるかな。



2 合同な図形（5年）「同じ大きさ、形の図形を見付ける。」



児童の教科書と同じものを拡大して，確かめさせる。



ワークシートを使って，児童に繰り返し操作させて，
合同とはどういうことか確かめさせる。

教科書と同じであることが
分かるように，ワークシートの
図も縦と横の比率を変えない！

合同な図形 名前 ()

めあて

③～⑥のうちで，⑥の三角形と形も大きさも同じ三角形はどれですか。

予想

方法

結果



教科書のページ



スキャンしたデータを使うときに教科書のページと縦・横の比率が違いすぎると，理解が難しい。